

12月1日 女子バレー部のエネルギー源！新米を今年もいただきました！

今年も、岩美まちづくりの会様より新米90kgをいただきました。今年のお米は「きぬむすめ」。
お越しいただいたのは、まちづくりの会の横田さん。岩美でできた新米を笑顔で受け取ったのは、女子バレー部3年生の永田さん、鳥田さん、八木さんです。

いわみまちづくりの会と地域の皆様のご支援に感謝し、その支えを胸に1月の全国大会に挑みます。



12月20日 全国大会へ進む女子バレー部壮行会



明日からの鳥取の雪状況を懸念して、当初は12月21日に予定していた「女子バレー部 春高全国大会に向けた壮行会」と「2学期終業式」を1日早く行いました。

女子バレー部壮行会では、はじめに生徒会長の内田くんが「東京で行われる全国大会の会場に応援に行けません、心から応援しています。」とエールを送りました。

続いて、辻中校長は、「3年生はこの試合に勝つために、3年間練習してきました。チーム一丸となって力を出し切ってください。3年前の大会では惜しくも京都府立北嵯峨高等学校に敗れましたが、もう少しのところでした。スポーツは、力の差が多少あっても気持ち次第で勝利することもあるので、仲間を信じ、自分を信じ勝てる気持ちが大切。」と激励の言葉を送りました。

みんなの応援を受けて、部長の永田さんは、「いつも応援してくれてありがとうございます。春高の予選ではたくさんの方の応援のお陰で、辛かった場面も乗り越え優勝できました。全国大会で対戦する埼玉県代表の細田学園には、昨年のインターハイで敗れました。今回がリベンジマッチです。必ず勝ち、岩美校バレー部の歴史を塗り替え、全国ベスト8を目指します。」と熱く語りました。



1月5日 ご声援ありがとうございました～春高バレー全国大会～

1月4日（木）春の高校バレー～全日本バレーボール高等学校選手権大会が開幕しました。

本校女子バレーボール部は埼玉県の強豪細田学園と対戦、細田学園とは2022年の徳島インターハイで対戦しており、雪辱を期しての対戦となりました。

第1セットは相手の攻撃を堅い守りで凌ぎ、チャンスを活かして得点につなげてリードする場面もありましたが接戦の末落としました。第2セットでは攻撃のリズムを取り戻した相手のペースで試合が進み、勢いを止めることができず敗退となりました。

それでも、随所に岩美高らしい相手に向かっていく姿勢や苦しい場面でも笑顔で励まし合う選手の表情が見られ、見るものを清々しい気持ちにさせてくれました。

3年生はこれで引退となります。地域のみなさんの支援で3年間部活動を続けることができた恩に報いるためにもぜひ一勝を届ける、その一心で臨みましたがかなわぬ結果となりました。あらためてご支援に感謝申し上げます。

新チームは来週末の県新人戦に向けて始動します。



鳥取県立 岩美高等学校

瓦版

TSUREDURE

岩美高校の日常

～令和5年12月・令和6年1月～

第4号

岩美高校
ウェブサイト

学校ウェブサイトへアクセスすると更に詳しい情報をご覧いただけます。



後期球技大会 ドッジボール で盛り上がる

12月15日

本日は、球技大会！

開会式では、生徒会長の内田くんが「昨年の夏はコロナの流行、今年の夏は豪雨のため中止になった球技大会。この2年間で2回目の開催となる球技大会です。インフルエンザなどの感染に気を付けて、ルールを守り勝っても負けても笑顔で終わる楽しい大会にしましょう。」と挨拶しました。

今回の種目は「ドッジボール」。男女に分かれて競います。

生徒会執行部による綿密な試合の組み合わせとタイムスケジュールに従い、大会はスムーズに進んでいきました。

1ゲーム5分！午前と午後合わせて、予選リーグ男女全27試合、決勝トーナメント男子5試合、女子3試合を行いました。

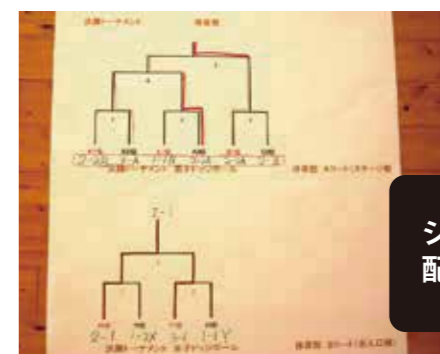


和やかな試合もあれば、手に汗握る試合もあり、生徒たちは珍プレーやナイスプレーに大きな声援を送っていました。

試合結果は、

- 男子：2年2組Aチーム
- 女子：2年1組が優勝しました！

寒さを吹き飛ばす熱い戦いと応援で学校全体が盛り上がった球技大会でした。



ショート動画
配信中！



12月8日

鳥取聾学校高等部のみなさんと手話交流！

「手話言語基礎Ⅰ」授業の実習で、2年3組の20名と鳥取聾学校高等部の生徒10名が岩美高校の講堂で交流をしました。

歓迎の挨拶を岩谷さんと牧間さんが手話で行い交流がスタート。



はじめに、グループに分かれて、岩美高校の校舎を案内しました。校内を案内した後のグループトークでは、「学校に自販機があるのにびっくりした」などという感想が聞けました。また、趣味や好きな食べ物、好きなスポーツなどお互いを知る時間を設け会話をしました。

2つ目は、パン食い競争！

手を使わずに、吊るされた揺れるパンを取るのなかなか難しいですが、生徒たちは上手にゲットしていました。

短い時間でしたが、生徒たちは今まで学習した手話を実際に使い、手話を必要とする同世代の生徒と意見交換やお互いの理解を深めることができた素晴らしい交流会となりました。

12月13日 岩美西小学校の皆さんと手話交流で楽しいひととき！

3年3組の生徒10名が、手話言語基礎Ⅱの授業の一環として岩美西小学校を訪問し、小学生たちと手話で交流をしました。

これまでに学習してきた手話の表現を活用し、小学生に挨拶や歌などの手話表現を教え、楽しくゲームをしたり歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。

はじめて会う高校生のお姉さんとお兄さんに少し遠慮がちだった小学生たちも、ゲームを通して徐々に打ち解けていき笑顔あふれる楽しい雰囲気でした。

次に、みんなが知っている童謡『海』を手話で歌えるよう、グループに分かれて練習しました。

歌詞の手話表現を小学生に丁寧に伝え、大きく表現しながら楽しく練習できました。

短時間の練習でしたが、どのグループもとても上手に発表できました。



交流会も終わりに近づき、岩美西小学校の児童から本日のお礼としてダンスの披露がありました。曲に合わせて楽しそうに踊る可愛らしい姿に、生徒たちはメロメロの様子。

3年3組の生徒からは、メッセージ入りの手作りのペンダントをプレゼントしました。

本日の交流会では手話による説明の場面が多くありましたが、3年生の手話はとてもスムーズで、小学生への配慮も感じられました。授業で習った手話表現の技術だけでなく、優しさや思いやりもプラスされた素晴らしい手話でした。

12月14日 高齢者と心温まる交流、ふれあいいいききサロンで交流！

地域福祉実習の一環として、岩美町の公民館で行われる「ふれあいいいききサロン」で、2年3組の6名が地域の高齢者と交流をしました。

岩美町内の白地公民館、東コミュニティセンター、田後コミュニティセンターでの3回の実習が予定されています。今日は2回目、東コミュニティセンターを訪問しました。

会場では皆さんが、あたたかい笑顔でむかえてくださり、生徒たちの緊張が一気にほぐれた様子。生徒たちは自己紹介をした後、高齢者の方々の間に座り、手遊びやスプーンリレーなどを楽しみました。

次に授業で学習した、年齢差や男女差、身体能力がさほど関係なく、全員が楽しめるレクリエーションを提案しました。この日のために、新聞紙やペットボトルを使って手作りした「輪投げ」を使って、2グループに分かれて得点を競いました。



高齢者の方々が、生徒たちよりも上手に的を狙って命中させているのがとても印象的でした。誰もが夢中になれるゲームで会場は大変盛り上がり、心から楽しみました。

レクリエーションで体を動かした後、高齢者の方々とお茶をしながら会話をしました。「わしは、岩美高校2期生だぞ。」「大先輩じゃないですか！」などといった会話もあり、お互いがふれあいを通じて生き生きとした時間を過ごすことができました。そして、生徒たちは、コミュニケーションスキルや思いやりの大切さを実感している様子でした。

お別れの際、生徒が手作りした「新聞紙のエコバッグ」をプレゼントしました。「大根を入れるのにちょうどええなあ。」といった感想もきけて生徒たちも喜んでいました。

1時間ほどの短い交流でしたが、レクリエーションあり、楽しいティータイムもありの終始笑顔が絶えない大成功の交流会となりました。



12月18日 福祉の心を育てる推進校事業 手作りの作品をプレゼント！

「福祉の心を育てる推進校事業」の一環で制作したお皿やメッセージカードをお渡しするため、3年3組 福祉類型の5名が、岩美町社会福祉協議会を訪問しました。

福祉実習でお世話になった前田さんに生徒は感謝の気持ちを込めて、手作りのアイテムを手渡しました。

個性豊かな作品からは、生徒たちが心をこめて作成した様子が伝わってきます。

前田さんは、生徒たちの作品を見てとても喜んでくださいました。

手作りの品を通じて地域とのつながり、笑顔と感謝が広がる素敵なひと時となりました。



先輩に学ぶ：3年生が受験の体験を語る

12月14日 1年生に向けて体験談を語る

進学先・就職先が決まった3年生の先輩たちにサクセスストーリーを聞く「先輩に学ぶ！」が、1年生を対象に行われました。

発表してくれたのは、3年生7名。それぞれが、進学先や就職先を決めた理由、試験の様子、努力した点、反省点など、自分の体験を具体的に話してくれました。

- 1年生の今からこころがける重要なポイントとして、
- ・オープンキャンパスや企業見学のチャンスを使い、実際の雰囲気を感じる。
 - ・普段から話し方に気を付ける。
 - ・資格を取得する。
 - ・ニュースや新聞を見て、幅広い知識を身につける。
 - ・きれいな字を書く。
 - ・早寝、早起きや健康管理も大切にする。
- などといったことがあがっていました。

また、「部活動やボランティア活動、生徒会執行部での活躍は、自分をPRできる重要な要素なので積極的に参加するとよい。」といったアドバイスをしてくれました。1年生は、先輩たちの体験と自分の進路先を重ね合わせ、真剣にメモをとっていました。



Fight!



1月18日 2年生に向けてエールを送る

進学先・就職先が決まった3年生に、合格までの実体験を聞く「先輩に学ぶII」が、2年生を対象に行われました。「先輩に学ぶII」で発表してくれた3年生に加え、本日10名が新たな合格体験談を発表してくれました。

- どのように進路を決めたか。
 - 頑張ったこと。
 - 受験に向けて、準備しておいた方が良かったこと。
 - 試験の内容
 - 振り返って、後悔したこと、失敗したこと。
- など、辛かった経験も笑いに変えて話してくれました。

熱い彼らのプレゼンには、合格の喜びと後輩を励ます優しい想いが込められていました。

リアル先輩の体験談が2年生の進学・就職に対するモチベーションを高めていました。

12月20日 3年生を対象に社会人セミナーを開催

3年生を対象とした、社会人セミナーが3日間開催されました。早い段階から社会の制度や法律に対応できる基本的な知識を習得し、トラブルに巻きこまれないようにするのが目的。

第1日目：12月18日（月）は、「知っておきたい働く時の基本知識（労働法制及び社会保険制度）」がテーマです。講師は、鳥取県社会保険労務士の棚田さん。

労働条件や労働時間、賃金や有給休暇といった働く上での法律や制度について詳しく説明いただきました。



第2日目：12月19日（火）は、「これから社会に出るみなさんへ（性犯罪から身を守る・薬物乱用防止について）」がテーマです。講師は、東部少年サポートセンター少年警察補導員の岸さんです。薬物乱用の防止として、危険な薬物やそれらがもたらす心身への影響、乱用のきっかけや対処法などについてお話がありました。また、性犯罪について、犯罪の被害にあわないようにするためのポイントなどについてもお話いただきました。

第3日目：12月20日（水）は、「社会生活を始めるにあたって（契約の際の注意点・クレジットカードや借金について）」がテーマです。講師は、鳥取県司法書士会の本郷さんです。

日々の生活は、あらゆる契約でなりたっており、契約をした当事者には権利と義務が発生する。成人と未成年の契約の違いやクレジットカードの利用、借金についてお話いただきました。生徒たちは、身近なお金の問題を真剣に聞いていました。



1月11日 就職セミナー開催！社会人としての心構えを身に付ける。

4月から、新社会人となる3年生14名を対象に就職セミナーが開催されました。講師は、株式会社パーソナルヴィジョン研究所 代表取締役副社長の今さん。鳥取県内の複数の高校もオンラインで同時に参加して行われました。

このセミナーの目的は、来るべき社会人生活に向けての基礎知識やマナー、心構えなどを身に付け、生徒たちの抱える疑問や不安を解消するものです。



3つのセッションで約2時間行われたセミナーでは、ワークシートに具体的に書き出すことで、自分の気持ちと向き合い、再認識できるものでした。

- 入社を控えて
どんな社会人を目指したいか。どんな不安を抱えているか。
- 社会人になるって？
受け入れ側の立場で、どんな新入社員に会いたいと思うか。一緒に働きたいと思うか。
- 困った時は？
困った状況をつくらないために大切なこと。

セッションの途中には、社会人の先輩たちからのメッセージ動画や、「カウントアップ100」ゲームなどもあり、生徒たちは楽しみながら受講していました。

最初に行われた、「社会人デビューを目前に控え、いまだどのような気持ちですか？」という質問に、生徒の多くが「楽しみと不安、両方あります！」という回答でしたが、受講後のアンケートでは、「受講前より、意欲が増した。」という回答が多くみられ、前向きに進み出していました。



1月12日 鳥取県教育長表敬訪問～吉林省での体験を教育長に報告～



令和 5 年 1 月 1 8 日～ 2 3 日の日程で、中国吉林省を訪問した 8 名の生徒のうち、5 名と、辻中校長、三好教頭、濱橋主幹教諭が、鳥取県教育委員会 足羽英樹教育長を表敬訪問しました。

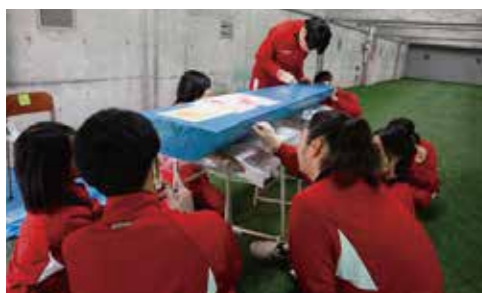
訪問では、辻中校長と三好教頭が、今回の交流授業の概要の説明を行った後、生徒を代表して 2 年 1 組の谷口君が、5 日間の訪問の感想を報告してくれました。

他の生徒たちからも、「同世代の高校生や大学生との交流が一番楽しかった。」
「生徒たちが日本語を一生懸命勉強し、意思疎通ができるレベルまで上達していることに驚かされた。」
「鳥取県や岩美町の紹介、日本文化の「けん玉」を大勢の前で披露する経験をし、とても緊張したが皆が盛り上がってくれたので、自信につながった。」
「現地に行くまでは、中国にあまり良いイメージをもっていなかったが、交流することによって、一般の人たちはとても気さくで優しい人たちだと分かった。」
「本場の料理は、日本で食べる中華料理と違い少し戸惑った。」「水道水が飲めなかつたので驚いた。」など続々と意見が出ていました。
生徒たちにとって、新しい発見と刺激、学びにあふれた 5 日間だったことがあふれ出る報告でした。



足羽教育長は生徒たちの報告を受け、「世界中の国際関係が緊張している今ですが、高校生、大学生といった若い世代がどんどん交流を行い、お互いの垣根を低くし世界を平和へ導く道標となしてほしい。今回の交流事業の経験を、これからの高校生活や将来の夢に活かしてください。」とお話しされました。

1月22日 岩美消防署花壇のベンチ塗り替え！～3年生 農業と環境～



岩美消防署横の花壇のそばに、ベンチが設置してあるのをご存じですか。これは、平成 30 年（2018 年）12 月に、イワツツミッションの取組みで生徒たちが制作したもので、訪れる方々にほっと一息ついていただけるよう、生徒たちが絵柄を施しました。

設置から 5 年が経ち、絵柄の劣化が進んだことから、3 年生の「農業と環境」授業の一環で、塗り替えを行いました。180 cm ほどある腰掛け部分の丸太を、岩美まちづくりの会の方々に体育館下のピロティまで運んでいただき、青いペンキで全体を塗り 1 週間かけて乾燥、本日は、絵柄を描いていきました。

テーマは「四季の花」
1 年中植物を楽しめる町中の花壇にぴったりのテーマです。
海と空の美しい岩美のブルーに、カラフルな花や葉が咲いています。
岩美消防署横の花壇にお立ち寄りの際は、ゆっくり腰掛けてお寛ぎください。



1月15日 完成秒読み★本年度版 岩美町観光ポスター！～生徒3名が鋭意作成中～

毎年恒例となっている、岩美高生デザインの「岩美町観光ポスター」。

本日は、岩美町商工観光課と印刷会社の方々と、完成に向けて対面による最終の打ち合わせをしました。現在制作を進めているのは、1 年 1 組の福間さん、佐藤さん、3 年 2 組の福間さんの 3 名。
3 名の生徒のデザインは概ね仕上がっており、数日かけて微調整を行い完成にむけて進めていきます。
企業の方々の細かな要望にも生徒たちは快く応え、デザインにさらに磨きをかけていくようです。



完成間近！ みなさん、楽しみにしててください。



1月17日 ラジオ収録！「FRIDAY×FRIDAY」トキ沼ハイスクール



毎週金曜日に FM 山陰で放送されているラジオ番組、「FRIDAY×FRIDAY」トキ沼ハイスクールに岩美高生 4 名が出演します。

本日は、事前収録を番組パーソナリティの比和谷さんとズームで行いました。
出演してくれたのは、3 年 3 組、伊澤さん、石橋くん、河口くん、福井さんです。

番組のタイトルにあるように、彼らが沼っていることを話してくれました。
生徒 4 人は緊張した様子もなく、普段の言葉で、彼らの間で今はやっていることを話していました。

パーソナリティの比和谷さんとのやりとりもとても楽しく、終始笑顔が絶えない収録となりました。

さて、どんな内容のお話が聞けるのでしょうか？
オンエアは 2 月の金曜日。日時が決まり次第、ブログに記載いたします。
ラジオアプリ radiko では、放送後 1 週間はお聞きいただけます。
みなさん、楽しみにしてお待ちください。



FM山陰ラジオ番組：「FRIDAY×FRIDAY」トキ沼ハイスクール



1月22日 プロに学ぶ～食の流儀 調理実習～テーマは「バレンタインと節分!？」

岩美町の白地にある、カフェ A lot の山本さんを講師に迎え、3年3組のフード類型5名が「ブラウニー」と「ココアロール」作りに挑戦しました。

最初に作ったのは「ブラウニー」。

生徒はまず、山本さんによる丁寧な調理のデモンストレーションを観察！プロならではのこだわりの材料や、ひと手間かけた調理の工程を目の前で見てメモを取ったり、時折、歓喜の声を上げたりしながら学んでいました。そして、いよいよ実践。先ほどのデモンストレーション通りに、今度は自分たちで作ります。



心を込め、楽しみながら調理しているのが伝わってきます。焼き上がった後、熱をさまし可愛らしく個別にラッピング!!美味しそうなナッツとホワイトチョコのカップブラウニーの完成です!

次に、ココアロール!

ロール生地は、業務用の機械を使って講師の山本さんが作って下さいました。手際よく工程が進むプロの動きに生徒たちの目は釘付けです。

焼き上がったロール生地に、生クリームとイチゴを敷いて巻いていき、きれいなロールケーキの完成!

ココアロールケーキが節分の恵方巻きのように、一足早い「バレンタイン」と「節分」の雰囲気漂う素敵な調理実習となりました。



1月26日 国語表現授業で、江戸時代のレシピを再現!

1月23日6限目に、3年生国語表現の一環として、江戸時代の料理を再現する授業が行われました。

生徒たちは事前に江戸時代の料理書を解説し、どのような料理が出来るのかイメージを膨らませ、グループごとに調理レシピを準備しています。材料、分量は各班の解釈にお任せます。3年1組の7名が2グループに分かれ、卵、寒天、黒砂糖、片栗粉などをふるいにかけたり、こしたりしながら調理していきました。最後に四角い型に流し入れ、一旦冷蔵庫へ。完成と試食は、後日。出来上がりが楽しみです。



2日間冷蔵庫で冷やし、本日はいよいよ実食! ときどきしながら冷蔵庫をオープン。2グループの1グループ目は、プルンと固まりいい感じです。2グループ目は!残念ながら、固まっていませんでした!!

「原因は、寒天の取り方?」と反省しながら、成功したグループから分けてもらい、皆でいただきました。食感はとても良く、甘さ控えめの羊羹といった感じ。

お味の方は「……。」「小豆のをせるとおいしいで。」とあって、生徒たちは複雑な表情で実食していました。はるか昔の江戸時代は、これくらいの甘さでも充分なお菓子だったのかもしれないね。



12月26日 進学試験対策セミナー 町営塾 HOPE- 冬 - 3日間開講!

冬のHOPE(進学試験対策セミナー)が、12月22日、25日、26日の3日間開講され、1、2年生34名が参加しました。

開講式では、岩美町教育委員会 大西教育長が、「この講座の名前"HOPE"には、「希望」や「望み」、「期待」などといった意味があります。名前の通り、みなさんの進学に向けての「希望」をサポートするために岩美町のみなさんの協力により準備した無料で受けられるセミナーです。ここでは、町民の「望み」や「期待」また、皆さんに対する応援の気持ちが込められています。このセミナーで「希望」をかなえて、今度は講師としてこちらに帰ってきてくれるのを「期待」しています。」と挨拶されました。



3日間午前中は、9時から1時間ごとに10分の休憩を取りながら12時までの自習学習。その後、指導に来てくれた大学生の講話。昼休憩の後、2年生は小論文指導といった日程で行われました。

午前中の自学自習の時間は、現役の鳥取大学生に積極的に質問をする姿がみられ、楽しく会話をしながら学習にも取り組んでいるようでした。



25日のクリスマス日には、加藤教諭からお菓子のプレゼントがあり、思いがけないサンタの登場に生徒たちは喜んでいました。

自学自習の後の大学生講話の時間には、大学生のリアルな声を聞くことができ、生徒たちには大きな刺激となり、またモチベーションが高まる時間となりました。

大学生は、自分の経験を振り返り「3年生になって勉強を始めるのではなく、みなさんのように1、2年生から始めておきましょう。そして、普段から授業をしっかり聞きましょう。」「行きたい進路先の情報は、早めに調べて自分が好きな事や、学びたいことが見つかるようにしましょう。」「自分が一番集中できる場所はどこか。家か、塾か、学校か、図書館か。自分のスタイルを見つけ、やりやすい環境を見つけることも大切です。」「得意を見つけるのも良いが、苦手を見けるのも大切。苦手を効率よく勉強できるように対策をしよう。」などといった、学習のアドバイスや、「大学生は本当に楽しい。」「大学は人生の夏休みです。今辛くても、楽しい大学生活がまっています。」などと強調し、生徒たちを元気づけてくれました。



昼休憩の後、午後は2年生を対象に、矢沢教諭による小論文の書き方の丁寧な指導がありました。

矢沢教諭の指導は大変楽しく、アイデアを活発に交換し合い試験突破のコツをしっかりと学びました。

強い寒波も心配されましたが、3日間無事におわり充実した学習の時間となりました。

12月14日 エキスパート教員授業：発展日本史 B

鳥取県教育委員会が毎年行っている「エキスパート教員授業」が実施され、岩美高等学校からは地理歴史（日本史）の山根教諭が授業を行いました。

授業は2回。1回目、12月14日の授業では3年1組の11名が、1920年までの自由民権運動から全体主義への変遷期において、民衆の感情の変遷に焦点を当て、なぜ民衆が戦争に参加したのかについて考察しました。学生たちは時代の変化やその理由について積極的に意見を交わしました。



2回目は12月19日。こちらの授業は、3年1組の生徒4名と遠隔で行いました。太平洋戦争の時代、女子高生たちはどのようにすごしていたのか。女性の自由が奪われていた時代について話し合いました。



インターネットで接続し、画面の共有や挙手ボタンなどの機能を使い授業は進んでいきました。途中、インターネット接続や音声の不具合もありましたが、協力し合いながら困難を乗り越え授業が進みました。いつもと違うスタイルの授業に笑顔が絶えない授業となりました。



12月20日 2学期終業式

2学期終業式が行われました。終業式では辻中校長が、「1年生は1学期の終業式、2年生は1年前と比べると確実に成長がみられます。どうか自分の事を否定せず、肯定的にとらえる癖をつけてください。」と話しました。



そして、英語で1フレーズ「Action Trumps Everything」と送りました。「この言葉には、とにかくやってみよう！やってみないとわからない！といった意味が含まれています。勉強や部活だけでなく、もっと身近な部屋の掃除や家の手伝いなどから始めて、自己肯定感を高める癖をつけることを意識して過ごす冬休みにしてみてください。」と話しました。

1月11日 令和6年の学校生活がスタート！～3学期始業式～

本日の始業式は、久々にリモートで行われました。辻中校長は式辞で、脳神経外科医の榎本由貴子さんのお話しました。

「榎本さんは、神の手を持つ脳外科医の異名を持つ程の素晴らしいドクターです。現在のキャリアから想像できないですが、高校時代は社会に不満を抱き、入学後1週間くらいで停学、1ヶ月程で退学、その後は暴走族に入り夜な夜なバイクで走り回っていたといった経歴をお持ちです。そんな彼女が医師を目指した理由は、暴走行為で起こした事故による「友人の死」。命と向き合った榎本さんは、「人の命を救える医師になりたい」と強く思われたそうです。彼女のお話は、高校時代に3年間しっかり勉強をすれば道がひらけ、なりたい自分になれるという勇気をくれます。どうか皆さん、新しい年のスタートを機に、やる気をもって一歩前に踏み出す1年にしてください。」始業式の後には、服装検査や課題テストなどが行われ、学校生活再開です。



1月13日 令和5年度鳥取県立岩美高等学校同窓会 総会と懇親会を開催！

令和5年度鳥取県立岩美高等学校同窓会 総会・懇親会を開催しました。

会場は、鳥取市にある「白兔会館 ちどりの間」。24名の同窓生にお集りいただき大盛況の会となりました。総会は、岩美高校同窓会 田中会長からのご挨拶のあと、辻中校長が出張で不在のため、三好教頭の挨拶と続きました。そして、議事選出の後、令和4年度事業報告・令和4年度会計報告・監査報告・役員改選・令和5年度事業計画(案)・令和5年度予算(案)などについて協議しました。その他の項目としては、来年度同窓会の運営について・同窓会名簿第8号の発行について(令和9年発行予定)等も意見を交わしました。



引き続き懇親会を行い、今後も岩美高等学校のさらなる発展とそれをサポートする同窓会の強い結束を感じる会となりました。

12月4日 今年度も裏山整備を実施しました!!

前日までの冬空から一転、穏やかに晴れ、日差しに暖かさを感じられた12月4日(月)の午後、生徒22名と先生5名、そして鳥取県(東部農林事務所八頭事務所)農林業振興課の職員方々4名の計30名で、裏山の整備活動を行いました。

まずは専門家の池淵さんの説明を聞き、実際に作業を行いました。



作業内容は、地図上の白色の線で囲まれた範囲にある細い広葉樹の除木



そしてフェンスを越えている枝の除去



活動は約1時間行われ、13時15分に作業終了しました。

植物は、伸ばしっぱなしにしていると危ない。

余分な木、枝、つるを取り除くことで森林は生き生き成長します。

私たちの生活している学校の身近なところで環境を配慮した活動ができ、慣れないのこぎりの扱いに苦戦することもあったけれど気持ちがすっきりしたという感想がありました。

作業終了後、整備した山を背に集合写真を撮影しました。



12月7日 とっとり子育て魅力発信事業講座：鳥取に住むメリットを再認識！

本日、家庭科授業の一環として、外部から講師としてファイナンシャルプランナーの伊木さんを迎え、1年生を対象に「10代で学ぶお金の管理とライフプラン」をテーマに講演が行われました。

この講演では、都会と比べた鳥取の「子育て環境」、「将来にわたる収支状況」、「住環境」などの優位性を理解し、鳥取で就職・生活することの魅力、将来のライフイベントとその費用や、リスク管理・資産形成など、将来に備えた長期的な経済計画について考えるきっかけにするのが目的です。

講演では、鳥取県の子育て環境が他県に比べていかに素晴らしいかを、グラフで分かりやすく比較しながら説明していただきました。



また、成人年齢引き下げに伴い、高校生の段階で契約など社会的に責任ある行動が求められることについてもお話があり、自分たちが近い将来直面するお金について意識を向けるよい機会となりました。